

神山消防団の挑戦 ★滋賀県消防ポンプ操法大会に向けて★

前号でご紹介しましたが、神山消防団の滋賀県消防ポンプ操法大会出場が決まり、団員の皆さんが連日訓練を続けておられます。8月4日の大会まで残すところ1ヶ月余りとなった去る6月27日、早朝訓練の様子を取材しました。

前日の大雨が大地を濡らし、草木に残る雨露が乾く間もなく迎えた朝、あいにくの曇り空に気温も上がらず、肌寒さすら感じるコンディションの中、5時30分に訓練会場の運動公園に到着。

少し離れた駐車場に車を止めると、早朝の静けさを吹き飛ばすように指揮者の大きな号令の音が辺りに響いていました。張詰めた緊張感と熱気を帯びた迫力に気圧されながら、ゆっくりと近づいていくと、「おはようございます!」という元気な挨拶と気さくな笑顔で迎えてくれる、いつもと変わらない神山消防団の皆さんがいました。安堵の気持ちでしばし訓練を見学。

選手の皆さんは、信楽署の署員の方から指導を受けながら、細かな所作・姿勢にまで気を配りながら、繰り返し動きを確認されていました。また、他の団員の皆さんもホース等器具を片付ける人、準備する人、選手に付き添って動きをチェックする人、タイムを計測する人、ビデオカメラで撮影する人等、それぞれの持ち場で黙々と選手をサポートされていました。

素晴らしい“まとまり”に感激しつつ、古谷部長と選手を代表して指揮者の前川さんにお話をお聞きました。

Q：とても良い雰囲気です訓練されていますね。

古谷部長：雰囲気は良いと思います。訓練を始めてから一人の欠席者もいませんし、特に指示しても皆がそれぞれの立場で確実に仕事をこなし、しっかりまとまっていますので助かっています。

Q：選手として気をつけていることはありますか？

前川さん：難しいことですが、怪我をしないことです。このため、食べる物等にも気を遣って怪我をしない体作りにも取り組んでいます。かなり引き締まってきましたよ《笑》

Q：部長としてはいかがですか？

古谷部長：やはり体調管理です。今のところ全員元気で頑張ってくれていますが、これから暑くなってくると疲れも出てくると思いますので怪我等を心配しています。焦りもありますが、メリハリをつけて休む時はしっかり休むよう団員にも伝えていきます。

Q：これまで信楽分団の先輩が輝かしい成績をあげられていますが、プレッシャーはありますか？

古谷部長：ないと言えば嘘になります。極端に意識しないように心掛けていますが、つい『優勝』という言葉が出てしまいますし、団員皆そうだと思います。【うなずく前川さん】。ただ、本当の目的は大会への取り組みを通して、さらに神山消防団がまとまり、これまで以上に地域に貢献できるようになることだと考えています。そういった意味では、訓練を通して確実に団結力が上がってきていますし、プレッシャーはありますが大会に出場できることになって良かったと思っています。

Q：最後に、大会に向けての意気込みと地域の皆さんへのメッセージをお願いします。

前川さん：ご支援ありがとうございます。大会で目指す所は一つ(優勝)です。良い結果が出せるよう頑張りますので、最後まで応援をお願いします。

古谷部長：繰り返しになりますが目指す所は一つ(優勝)です。最後の最後まで気を緩めず、支援いただいている地域の皆さん、お世話になっている信楽署ならびに信楽分団幹部の皆さんに良い報告ができるよう、団員一同頑張りますので応援よろしくお願いします。

もし、お時間が許せば訓練を見に来ていただければ幸いです。

訓練中の厳しさから一転、訓練終了後の神山消防団らしい和気あいあいとした雰囲気の中にもチームワークの良さが垣間見え、地域に住む一住民として心強さと誇らしさを感じつつ、会場を後にしました。

今号がお手元に届く頃には、訓練も大詰めの段階を迎えています。皆さんの激励が選手はじめ団員に力を与えますので、地域一丸となった応援をお願いします。

● 訓練予定日 ● 毎週：月曜日、火曜日、木曜日、金曜日、土曜日

※選手、団員の体調面等、諸事情により予告なく日程が変更される場合があります。



〔選手紹介〕

指揮者：前川 幸市 1番員：藤田 祐樹
2番員：服部 貴典 3番員：大原 成紀
補欠員：池田 素樹 補欠員：川口 翔